

産科医療補償制度 第 83 回原因分析委員会 議事要旨

日 時 : 平成 28 年 7 月 26 日 (火) 17 時 00 分～19 時 05 分

場 所 : 公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者(委員) : 茨聡、岡井崇、岡本喜代子、北田淳子、楠田聡、佐藤昌司、
下屋浩一郎、鈴木利廣、関沢明彦、高橋恒男、豊田郁子、
前田津紀夫、宮澤潤、村越毅、吉田幸洋 (敬称略)

議事概要 :

- 1) 原因分析委員会における審議体制変更後の状況について
○平成 28 年 1 月の原因分析委員会における審議体制変更後の原因分析報告書の承認件数が 6 月末で 157 件、制度発足以降の原因分析報告書の累計承認件数が 1,014 件となったこと等が報告された。
- 2) 特殊な事案の審議
○原因分析委員会部会での審議において、原因の特定が極めて困難であった事案について、原因分析委員会委員による審議を行った。
- 3) 部会審議における確認事項等
○新たな事案の追加に伴い、原因分析委員会部会から、原因分析の質および均質性を維持するために、原因分析委員会としての考え方を整理して欲しいと要望があった事項について、考え方を整理した。
- 4) 診療録等を提出いただいた健診機関に対する対応について
○原因分析の実施に必要な診療録等を提出いただいた健診機関に対する対応について審議した。
- 5) 『医学的評価に用いる表現』(「原因分析報告書作成にあたっての考え方」に記載)の案内方法について
○原因分析報告書がどのような考え方に基づいて作成されているかを読者が理解しやすいように、今後は、原因分析報告書を送付する際に、『原因分析報告書作成にあたっての考え方』が本制度のホームページに掲載されていることを併せて案内することとなった。

以上